



新羽中だより

令和5年11月15日(水)

11月号

横浜市立 新羽 中学校

☎542-1680 FAX 541-1038

おいしくて栄養バランスの取れた中学校給食

副校長 飯塚 英恵

10月31日(火)の神奈川県立音楽堂での合唱コンクールは、たくさんの保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様、町内会長の皆様にお越しいただき、そして、地域コーディネーター7名の方に各駅や県立音楽堂までの道のりの安全見守りをしていただきました。本当にありがとうございました。どの学級も本番では練習の成果を発揮した歌声を披露し、一生懸命な姿にとても感動しました。特に3年生の合唱は合唱コンクールにかける思いやパワー、ハーモニーが会場全体に伝わってきて、鑑賞している人を魅了しました。合唱コンクールを通して、学級で学んだことや得たものをこれからの学校生活や自分の人生にぜひ活かしてほしいと思います。

さて、話題は変わりますが、横浜市立の中学校では、令和8年度から全員給食がスタートすることになりました。新羽中学校でも全員給食がスムーズにスタートできるように、部屋の確保や給食への意識づけを少しずつ進めているところです。横浜市立の中学校では、「ハマ弁」と呼ばれた配達弁当を経て、令和3年度から選択制のデリバリー型「給食」が始まりました。現在は「ハマ弁」という呼び方ではなく、学校給食法の趣旨を踏まえた「給食」です。政令市では、名古屋市・新潟市・京都市、県内では鎌倉市・藤沢市が同じ方式です。令和5年4月の全市の中学校給食の喫食率は38.6%、新羽中学校は33.9%となり、年々利用者が増えています。現在、横浜市は全員給食のスタートに向けて、全生徒の供給体制の確保、アレルギー代替食の提供、食缶による汁物の提供、おかわり用給食の提供など新しい中学校給食の実現に向けた検討を進めています。

来年度に入学する1年生が3年生になった時は、全員が「給食」になります。そこで、本校ではPTAと一緒に協力をして、本校の保護者と新羽・新田小学校の6年生の保護者を対象に、給食試食会と食育懇談会を開催することにしました。中学校給食を実食し、献立内容や栄養価、味や分量などを知っていただき、子どもたちの「食」について一緒に考えることができたらと思います。是非多くの保護者の方のご参加をお待ちしています。

「ハマ弁」時代から、生徒から「おかずが冷たい」との声が聞こえてくることもあります。現在の「給食」のご飯と汁物は、調理した後の配送時も温かい状態を保っていますが、おかずは、一つの容器に複数の献立が入ることもあり、衛生管理を徹底し食中毒を予防する観点から管理温度が19℃以下と決まっているため、温かい状態では届けられないということです。しかし、19℃以下でも美味しく食べられるように、提供温度に適したメニューや、味付け・調理の工夫を行っており、温かいホットソースを主菜のおかずにかけて食べる献立も導入しています。また、「給食」は、成長過程にある中学生に必要なカルシウム・鉄・ビタミンなどの栄養素が自然に取れて、成長のサポートとなるのが最大の魅力です。毎日の献立は、小学校給食と同様に、市の栄養士が作成しています。栄養バランスはもちろん、煮る、焼く、揚げるなどの料理法や味付けにも変化を付けていたり、旬の食材をたくさん使ったり、地産地消で神奈川県内産の食材を使ったりしています。

身体の成長が盛んで活動が活発な時期である中学生が、現在及び将来にわたる健康な生活の実現に向けて、よりよい食生活を送るための資質・能力を身に付けることはとても大切です。これからも生徒が毎日を元気に生活できるよう栄養バランスの取れた給食のよさと「食」の大切さを生徒に伝えていきたいと思っています。

《新羽丘陵公園の草取りボランティア 10月22日》

今年度、最後の草取りでした。朝8時から2時間程度、公園愛護会の方が草刈り機で刈った雑草を集めて、木の根元や斜面の下の方に集めるという作業をしました。天気が良く、涼しい朝の時間の作業に秋を感じました。参加してくれた1年生の4名の生徒ボランティアのみなさん、PTAのみなさん、ありがとうございました。



《PTA 味噌作り講習会 10月23日》

菊名にある小泉麴屋の方を講師としてお招きをして、PTA 16名の参加者の皆さんで、大豆・米麴・塩の3つから「手作り味噌」を作りました。

参加した保護者の方からの感想

- 半年後にできた味噌で料理を作るのが楽しみです。
- 地元の産業に興味をもちました。
- 大豆は「睡眠効果」があるという話を聞きました。
- 普段は購入している味噌が3つの材料で簡単に作れることがわかり勉強になりました。
- 米麴がどんなものか実際に触れて学ぶことで食品への興味が深まりました。
- 市販品ばかり購入していたので、良い経験になりました。
- 子どもたちにも食べることの楽しさや喜びを伝えていきたいです。



普段の食生活や食育の大切さを見直す機会となったようです。

《小中児童生徒交流 新田小6年生 10月27日》

新田小学校の6年生の児童が来校し、校内見学と5校時の授業参観を行いました。小学生は中学校の授業を真剣に見ていました。授業をやっている中学校の先生が小学生に質問をするユニークな場面も見られました。最後の質問コーナーでは、「給食」の内容が出ました。次回は2月1日に部活動見学での交流があります。



《わら蛇が新羽中学校へ 10月27日》

新羽町の中之久保には「注連引（しめびき）百万遍の藁蛇（わらへび）」という行事があります。今から230年前の江戸時代の天明の大飢饉に、疫病が流行しました。困り果てていた村人は、わらで編んだ3匹の大蛇を村境の「ヒイラギの大木」に巻き付け、「ここで病を食べ尽くしてください」と、祈りを込めたお酒をかけて祈願しました。すると、その年には疫病がなくなりました。村人は、「わらの大蛇のおかげだ」と心から感謝し、それから毎年わら大蛇を作るようになったと伝えられています。

10月27日に、新羽小学校の児童と地域の方によって、わら蛇作りが行われました。小学校で完成した後で、保存会の方が、わら蛇を新羽中学校の校門脇の木に巻き付けてくださいました。

このわら蛇は、新羽小、新田小、新羽中、そして杉山神社に飾られています。わら蛇の特徴ですが、頭は市松模様に編まれていて、舌は赤く、目は木で作られていて長く飛び出しています。ぜひこの特徴を見てみてください。新羽中学校の皆さんをずっと守り続けてくれています。



《横浜市中学校総合体育大会閉会式 11月8日》

横浜武道館において、「令和5年度 横浜市中学校総合体育大会閉会式」が行われました。閉会式では、今夏の総合体育大会の結果の紹介や体育活動優秀生徒の表彰がありました。本校からは3年生の体育活動優秀生徒（男女各1名）と2年生の各部活の代表生徒5名の計7名が代表として参加してきました。生徒にとって大きな励みになったことと思います。今後の更なる活躍を期待しています。

《職業講話2年 11月9日》

5・6校時にテレビ局の方に来ていただいて、前半はテレビ局の仕事について詳しくお話を聞き、後半は、「ディレクター」「カメラマン」「アナウンサー」「音声」「タイムキーパー」「スイッチャー」の仕事を実験生徒の6名が実際に体験をしました。働くことの大切さやその意義について理解を深めることができました。



《第2回 新羽小中学校運営協議会 11月10日》

第2回は新羽小学校で開催されました。小学校の6校時の4～6年生の授業見学をして、その後、各学校からの報告とグループ協議を行いました。その中で「今年度は地域行事が復活できて、子どもたちも地域の方も楽しく参加できた」「地域のことを引き継ぐ後継者がいないことが課題」「子どもたちが大人とつながることが大切」「地域を愛する子どもを育てたい」「学校運営協議会の今後の在り方や進化について」などのご意見が出ました。いつも子どもたちを見守ってくださり本当にありがとうございます。



《文化祭・合唱コンクール 10月30日～31日 11月2日～10日》

10月30日【5・6校時 各クラスで全校放送の視聴】

開会式ムービー・自然科学部・翌日の見どころ紹介
各クラスで盛り上がりを見せていました！



テーマ「彩」
～個性の色であざやかにいろどる虹色のパレット～

10月31日【神奈川県立音楽堂】

○合唱コンクール（午前の部）

2年課題曲「白いライオン」

1組「山のいぶき」

2組「予感」

3組「きみにとどけよう」

1年課題曲「夢の世界を」

1組「思い出胸に」

2組「新しい世界へ」

3組「はばたこう明日へ」

○合唱コンクール（午後の部）

3年課題曲「大地讃頌」

1組「夢みたものは……」

2組「ひとつの朝」

3組「ヒカリ」

○文化祭ステージ発表（合唱終了後）

- ・音楽部
- ・合唱委員会企画（全員合唱）
- ・文化祭委員会企画

どのクラスも大変
素晴らしい歌声で
感動しました！

合唱の優勝
1年3組
2年2組
3年2組



11月2日～10日【文化祭展示(学級ごとに見学)】

技術・家庭科展示・個別支援学級展示・美術部展示

作品のそれぞれに創意工夫と
努力の跡が輝いていました！



素晴らしい合唱コンクール・文化祭を創り上げてくれた生徒の皆さんに心から拍手を贈ります！

12月の主な行事予定



12月 1日（金）個別支援学級小中ブロック交流会

12月 1日（金）～7日（木）個人面談

12月12日（火）学校保健委員会 PTA 給食試食会
個別支援学級3区合同作品展見学

12月14日（木）2年職業講話

12月20日（水）3年進路説明会

12月25日（月）12月授業最終日

12月26日（火）～1月8日（月）冬季休業

（※12月に予告なしの避難訓練（火災）を行います。）



12月12日（火）PTA 給食試食会・食育懇談会

本校の保護者、新羽小学校・新田小学校の6年生の保護者の皆様を対象に、給食試食会と食育懇談会を行います。給食を実際に試食していただき、中学校給食を知っていただく機会になればと思います。また新田小学校の栄養士の先生をお招きして、成長過程にある中学生にとって大切な「食」について考えたいと思います。保護者の皆様のご参加をお待ちしています。

（詳細はプリントで配布しています。QRコードより申し込み 11月23日締め切り）

中学校給食 12月のPICK UP 献立

◆新メニュー！

12月 8日（金）ルーローハンの具

◆野菜のうま味がベストマッチ

12月14日（木）ハンバーグ

◆冬至

12月22日（金）鰯（ぶり）のゆずみそだれがけ かぼちゃの甘煮



冬になり、寒さが厳しくなってくる12月。給食では、冬が旬の食材をたくさん使っています。

冬野菜には体を温める働きや、免疫力を高める効果があるものが多くあります。旬の食材を食べ、元気に冬を乗り越えましょう。

令和5年度 全国学力・学習状況調査(新羽中学校3年生結果)

令和5年4月18日に横浜市立新羽中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の概要をお知らせします。

■教科別学習状況調査結果

●国語においては、平均正答率は全国、県と比較してやや下回った。選択式の問題では全国をやや上回り、県と比較してやや下回っており、記述式の問題では全国と県を共に下回った。「国語の勉強は大切だと思う」や、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と回答した生徒の割合は全国、県を大きく上回っている。また、「自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか」という質問に「当てはまらない」と答えた割合は全国、県よりも上回っている。

●数学においては、平均正答率は全国、県とほぼ同程度であった。また、選択式の問題では全国と県を上回るものの、記述式の問題では全国と県を下回った。「数学の勉強は大切だと思う」生徒の割合や「数学の授業で学習したことは将来社会に出たときに役立つと思っている」生徒の割合が全国と県を上回っている。一方で、「数学の勉強は好きですか」という質問では、全国と県をやや下回っている。

●英語においては、平均正答率は全国と比較してやや上回ったが県と比較して同程度であった。選択式の問題では全国、県と比較して上回ったが、記述式の問題では全国、県と比較して下回っている。また、「話すこと」の平均正答率は全国と同水準であった。「英語の勉強は大切だと思う」生徒の割合は全国、県と同水準であるが、「英語の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思う」生徒や「将来英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい」生徒の割合は全国、県をともに上回っている。

平均正答率 (%) / 中央値 (問)

	国語		数学		英語	
新羽中学校	66 /	11.0問/15問	51 /	8.0問/15問	50 /	8.0問/17問
神奈川県(公立)	70 /	11.0問/15問	52 /	8.0問/15問	50 /	8.0問/17問
全国(公立)	69.8 /	11.0問/15問	51.0 /	8.0問/15問	45.6 /	7.0問/17問

国語

【成果】

記述問題は「何を聞かれ」「どう答えるか」まで、読み取る力が必要である。【読む→思考・判断→表現する】、この流れを取り入れながら授業を展開する必要がある。単元終了時などに感想文などを書く授業を取り入れた結果、「書くこと」への抵抗は減少したように思うが、今後も読解力を高める授業の展開に努めていきたい。

【課題】

「我が国の言語文化に関する事項」が県平均より下回っている。古文に苦手意識があることがわかる。生徒たちにとって、古語で書かれた文章や昔の人々の生活などは分かりづらいものだろう。分かりづらい内容を理解するためには分かり易い現代語訳や解説した文章などを教材に加える必要があると感じる。

数学

【成果】

図形分野において、角度から直線の関係を見出し、それを記号を用いて表す方法や、証明やデータをもとに説明する記述問題などについて、授業で取り組んだ成果が見られた。また、数と式分野において、計算問題を解くことや、数に関する知識を答える問題について授業で取り組んだ成果が見られた。

【課題】

思考・判断・表現の問題はすべて記述式であるが、全国平均を上回るものと下回るものが混在している。具体的な数値や式を与えられて解く問題は上回る傾向にあるが、自分の考え方を表現したり、結論が成立するための前提を振り返って成り立つ事柄を見出したりする問題は下回っている。学習の中で、答えのみでなく、導くまでの過程を大切にしたい。

英語

【成果】

「聞くこと」については、平均正答率が全国、県を共に上回っており、日常的な話題について必要な情報を聞き取ることについて成果が見られた。また、「話すこと」についても、平均正答率が全国、県を共に上回っており、質問されたことに対して自分の考えと共にその理由を話すことについて成果が見られた。

【課題】

「書くこと」については、特に記述式の問題において、平均正答率が全国、県を共に下回っている。無解答率については全国平均と比べて少ないものの、決まりごとに則して文章を書くことや、一貫性のある文章を書くことについて課題が見られた。授業内で、語彙力を向上させるとともに、その語彙を用いて自分の考えを伝える活動に繋げていきたい。

■生活意識調査結果

基本的な生活習慣について、「朝食を毎日食べている」と回答した生徒は93.8%、「毎日同じくらいの時間に寝ている」と回答した生徒は77.3%と、県・全国とほぼ同程度である。「将来の夢や目標を持っている」と答えたのは72.2%で、県の64.8%、全国の66.3%より高くなっている。自分自身について、「よいところがある」と答えたのは79.4%で全国80.0%と同程度であった。「人が困っているときは、進んで助けている」と答えたのは90.7%で全国88.1%より高くなっていて、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と答えたのは62.9%で、全国63.9%と同程度であった。「人の役に立つ人間になりたい」と回答したのは95.8%で全国の93.6%をやや上回った。「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う」と答えたのは70.1%で、全国の66.8%をやや上回った。「どんな理由があってもいじめはいけない」と回答したのは94.8%で、全国95.5%と同程度の高い割合であった。「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた生徒は75.3%で、県の65.6%、全国の66.4%を上回っている。「学校の授業時間以外に、平日2時間以上勉強(自習、塾、家庭教師等を含む)している」と答えたのは48.4%で、県46.4%とは同程度、全国33.7%より高かった。「学校の授業時間以外に、平日1時間以上読書(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)をしている」と答えたのは15.5%で、全国の13.8%と同水準であった。「新聞を月1回以上読んでいる」と答えた生徒は11.4%で、県の15.5%、全国の19.3%より低かった。

今後も家庭と連携しながら、きめ細かい相談活動や支援を行い、一層、生徒の健康と生活の充実を図っていきたい。